

夢中に、なろう。

vol.341

神大スタイル



TOPICS

神大に通っている
さまざまな留学生の生活に迫る！
彼らの多彩なバックグラウンドや
キャンパスライフをととして
留学生たちのリアルな声をお届け。

C
O
N
T
E
N
T
S

P1 — SPECIAL
THIS AND THAT!!!
神大留学生のアレコレ

P7 — センパイに会いたい／ゼミ・研究室探訪

P9 — お国じまん／CLUB ROOMS

P11 — 2023年度 学生生活実態調査





ファネサ ローレンシアさん
国際日本学部 国際文化交流学科 4年

【出身】インドネシア共和国

現在は卒論を鋭意執筆中！中国語の勉強と趣味のパンづくりがいい息抜きに。無心でパン生地をこねるとリフレッシュになるのだとか。

笠高 駿(カサタカ ハヤテ)さん

人文学研究科 博士後期課程
欧米言語文化専攻 1年

言語学、特に日常会話を研究中。現在は国際寮「栗田谷アカデミア」に入居しており、そこの留学生の会話が研究対象としている。

施 宝明(シ ホウメイ)さん

法学部 法律学科 2年

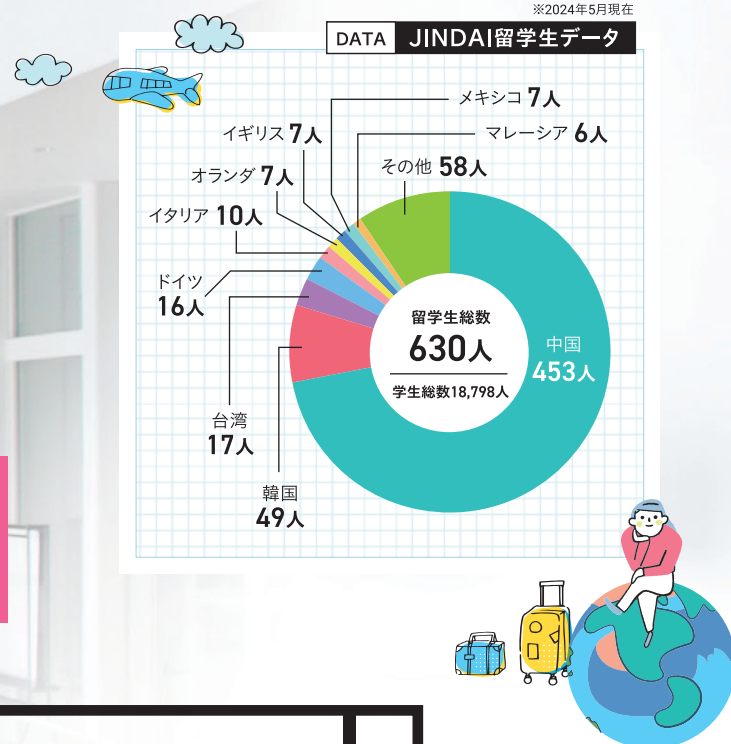
【出身】中華人民共和国

神大スタイルの学生編集スタッフ。カメラが趣味で、記事用に写真を撮ることもある。授業では、写真と著作権に関する法律の勉強に力を入れているそう。

森 紫織(モリ シオリ)さん

法学部 法律学科 2年

施さんと同じく神大スタイルの学生編集スタッフで、学部・学科も同じ。剣道、音楽、ピアノ、アニメと多趣味！



THIS and THAT

神大留学生のアレコレ

本学では、世界42カ国から630名の留学生を受け入れています。今回の特集では、そんな留学生たちにスポットを当て、それぞれの企画をとおして彼らのバックグラウンドやキャンパスライフのなかで感じていることなどに迫りました。

最初にお届けするのは、インドネシアと中国からの留学生と、日本人学生の対談の様子。文化や価値観の異なる留学生から見た日本人学生は、一体どのように見えているのでしょうか？ 4人の参加者に、日本の意外な魅力や日本人学生が留学生と交流する際に必要な心構えなどについて話してもらいました。

「神大に留学を決めた理由は？」

ファネサさん 日本に興味をもったきっかけは、アニメ。そこから日本に留学して観光の勉強をしたいと考えようになり、神大に入学しました。神大を選んだのは、観光文化コースがあること、みなとみらいにキャンパスがあることです。

施さん 私は高校生の頃から「法律を学びたい」「留学したい」と考えるようになり、海外の大学の法学部を志望していました。最終的にはドイツと日本で迷ったのですが、より食べ物が合いそうな日本を選択。神大を選んだのは、旅行で訪れた際に横浜の街に魅力を感じたことが大きな理由です。



ファネサさん、施さんによると「留学生は日本人学生に対して基本的にいつでもウェルカム！」なのだろう。読者のみなさんも、ぜひ勇気を出して声をかけてみてほしい。

「衝撃！母国と日本はここが違う」

ファネサさん 日本人は消極的な人が多い印象です。例えば授業で先生から私たち学生に問いかけがあっても、お互いに譲り合うような雰囲気になつて、結局誰も発言しないことがほとんど。なので、いつも私が答えてしまふんですね(笑)。

「私ばかり話して、目立ちたがり屋だと思われなにか」と不安でしたが、むしろみんなが私の積極性を褒めてくれたんです。その反応も予想外でびっくりしました。

施さん 私も、グループワークに参加した際、周りの日本人メンバーからなかなか意見が出なくて驚いた経験があります。私は欧米人の友人も多いのですが、彼らは話すのがとても好きなので、大きなギャップを感じますね。

ファネサさん でも、日本人学生のみならずとじっくり話してみると、みんな意見をもちていると感じます。恥ずかしがっているだけだと思うので、もっと自信をもって発信してほしいです。



生活面ではこんな話も...
諸外国に比べて現金への信頼度が高い日本では、キャッシュレス決済の導入率がまだまだ低い。「浅草に出かけた際、現金を持ち合わせておらず、なかなか食事にありつけず困りました」(施さん)

「日本人学生と留学生が交流を深めるために」

森さん 「日本人学生と留学生」というくりで考えるのではなくて、学部間の交流が盛んになるといいのではないのでしょうか？ 日本人学生も、学部やキャンパスが違ふとほとんど交流がないので、「所属が異なる者同士が交わる場」が増えれば、自ずと留学生とも交流できるのかなと思います。

笠高さん それから、日本人学生が「完璧主義」をやめる必要もあると感じます。私は国際寮でRA(留学生のサポートや寮のイベント運営を担う学生スタッフ)をやっていて、「留学生との交流イベント」にも携わるのですが、日本人学生の多くが「自分は英語が話せないから参加できない」と考えているんですね。もっとハードルを下げて、まずは声をかけてみるべきだと思います。

ファネサさん 英語力への自信のなさが理由で交流できていないことを考えると、イベントをやる際、「人数のバランスを工夫するのがいいかもしれません。個人的な感覚としては、少人数、かつ日本人が多いグループをつくるのがベストだと思います。人数が多すぎると日本人同士、留学生同士でまとまってしまふでしょうし、1対1では英語が不安なはず。数人の日本人でお互いにカバーしながら、留学生と話すのがいいのではないのでしょうか？」

とはいえ、留学生からしたら、日本人学生に話しかけられるのはとてもうれしいことです。イベントに限らず、もし機会があれば、英語が話せなくてもどんな声をかけてみてくださいね。

森さん 私も「英語が話せないのに声をかけたら迷惑かも」と考えていました。今後はもっと気軽にコミュニケーションをとろうと思います！



初対面のメンバーもいたものの、対談をとおしてお互いの距離がぐっと縮まり、最後はみなさん打ち解けた様子。「話してみること」の大切さを改めて実感できた。

留学生が日本を選ぶ理由のひとつが、治安。「夜に女性がひとりで外を歩けるくらい治安がいいのは、日本の大きな魅力だと思います」(ファネサさん)



7:00 起床・身支度

顔を洗って、時間があれば軽くメイクをする。「ファンデーションを塗って肌の質感を整える程度のメイクをしています。韓国では、ベースメイクや肌管理が習慣になっている男性が多いんですよ」



8:00 勉強

授業前に勉強時間を設ける日も多い。昨年1次試験に合格した「韓国の宅建士資格」の2次試験に向けた勉強をしたり、大学の課題や授業の予習・復習をしたりして過ごす。



10:30 午前の授業

@みなとみらいキャンパス

金融論を受講。専攻は不動産だが、深い関連があるお金の知識も身につけられるように選択したのだそう。「韓国には不動産投資に興味がある人が多く、私もそのひとりです。ただ、韓国には不動産について学べる大学が少ないので、神大への留学を決めました」

12:30 お昼休み・昼食

授業で一緒になった友人や同じ韓国からの留学生仲間、日韓交流会で出会った人たちなどと学食でランチ。「お気に入りのメニューはからあげ丼です!」



15:00 午後の授業

@横浜キャンパス

国際寮に一度戻ってから横浜キャンパスに移動し、租税論を受講。税にまつわる制度や理論、歴史などを学ぶ。「日本と韓国の税制度は似ている点が多く、発見がたくさんあります」



18:00 夕食

ユンさんの趣味は料理。そのため自炊するのが日課で、寮の友人たちに夕食を振る舞う機会も多い。「得意料理は韓国の家庭料理であるチュクポックム(豚肉の辛炒め)やキムチチゲ。みんなにおいしいと喜んでもらえるのがうれしいです」



00:00 就寝

就寝前は課題に取り組んだり、友人とその日のできごとを振り返りながらお酒を楽しんだりする。「最近は日本のウイスキーにハマっています」

追跡! ユン テウオンさんの

1 day

経営学部
国際経営学科

将来は「証券会社で不動産開発に関わりたい」と話す韓国出身のユンさん。卒業後は韓国での就職を考えているが、いつかは日本で働きたいのだそう!

「国際寮」って どんなところ?



国際寮「栗田谷アカデミア」では、多数の留学生と日本人学生と一緒に暮らしている。異なるバックグラウンドをもつ学生たちが積極的に交流する環境で生活することで、「言語や文化の違いを超えてコミュニケーションを図る力」を養える。

オープンな雰囲気のカウンターテーブルを併設した共同キッチン、「食」とおした異文化交流もできる。



寮内には、学生たちが飲談できる「ポット」を複数設置。コミュニケーションが生まれやすい空間設計がなされている。



RA制度について

RA(レジデントアシスタント)とは、「栗田谷アカデミア」の運営を担う学生スタッフ。日本語に自信がなかったり、日本の文化に不慣れだったりする留学生たちの寮生活のサポートや、寮で開催されるさまざまなイベントの企画運営などを担う。留学生たちにとって、頼れるリーダー的存在だ。一方で、留学生と接することで異文化への理解が深まったり、日本独自の文化に改めて気づけたりと、RA自身にも多くのメリットがある。



材料 (4~5人前)

じゃがいも	6個
小麦粉	100g
卵	1個
塩	少し
にんにく	2~3片
油	適量
ディルかパセリか青ネギ	少し
サワークリーム	お好み

ウクライナの家庭料理「デルニ」を作ってみた。

TRY! COOKING



Let's make Ukrainian home-cooked "Deruny".

国際日本学部 国際文化交流学科 ヘルスン オレクサンドラさんと故郷の家庭料理「デルニ」を作ってみました!

ヘルスンさんの出身地ウクライナでは定番の家庭料理、デルニ。細かく刻んだじゃがいもなどの野菜を調味料やつなぎと混ぜ合わせて焼く、シンプルな一品です。その分アレンジの幅が広く、奥深い料理でもあります。ヘルスンさんの家庭でも日常的に食べられていた「デルニ」、みなさんもぜひ作って、ウクライナの食文化を感じてみませんか? 食べる前のあいさつはウクライナ語でいただきますを意味する「スマチノーホ」で!

1 じゃがいもを 細かい千切りにする

皮をむいたじゃがいもを細かい千切りにします。千切り専用のスライサーを使うのが簡単ですが、なければ包丁で切ってください。切ったじゃがいもは、手で水気を絞っておきましょう。

2 そのほかの材料と 混ぜる

①に小麦粉と卵、塩、にんにく(みじん切りにするかすり下ろしておく)を入れ、よく混ぜ合わせます。小麦粉を入れるとまとまりがよくなりますが、家庭によっては入れないこともあるのだそう。また、このときにお好みでスパイスを混ぜてもOK。より風味豊かになります。

アレンジ
レシピ



じゃがいも以外の野菜でもOK!

今回はじゃがいもを使って作りましたが、ズッキーニやナス、キャベツなどをじゃがいもの代わりに使っても、もしくは複数の種類を混ぜてもOK。

デルニは懐の深い料理なので、ぜひお気に入りのマイレシピを見つけてください!

アレンジは無限大!
いろいろ
試してみて



3 丸く成形して フライパンで焼く

多めの油を引いて中火で熱したフライパンに、②を手かスプーンで薄い丸型に成形して並べます。並べ終わったら弱火にして、じゃがいもの色が透き通り、端に焦げ目がつくまでじっくり焼きましょう。

4 両面を焼いて盛りつけ、 トッピングを添えて完成

ヘラでひっくり返して反対の面も焼き、同じく端に焦げ目がついたら盛りつけます。サワークリームと刻んだパセリをトッピングしたら完成です。なお、サワークリームを無糖ヨーグルトに、パセリをディルや青ネギに変えてもOK。お好みの組み合わせで楽しんでください。





台湾のお年玉の袋です。おばあちゃんがくれたので大切にしています。



国際日本学部
日本文化学科
チェン ウィン イェンさん



クロアチア国内で一番人気のチョコレートです！



工学研究科博士前期課程
工学専攻
コパッチ ドラ
カタリーナさん



韓国の宅建士の本です。かなり分厚いです…



経営学部
国際経営学科
ユン テウォンさん



韓国で人気の雑貨店「EARPEARP」で購入したノートパソコンケースです。



国際日本学部
日本文化学科
オ イェウンさん



韓国のチヂミ用小麦粉です！



国際日本学部
国際文化交流学科
チェ ソヨンさん



リトアニア伝統の“hanging gardens”を作るキットです。去年のクリスマスにリトアニアの友人にもらいました！



国際日本学部
国際文化交流学科
ストラクシャイテ
イヴェタさん

colors

[カ ラ ー ズ]

毎日キャンパスですれ違うあんな人、こんな人。近いようで遠い、そんな彼ら、彼女らの、キャンパスライフを覗いてみたいありませんか？今回は国際寮「栗田谷アカデメイア」に住む留学生に故郷の思い出アイテム、伝統品、食べものなど…留学中も欠かせないお気に入りアイテムを紹介してもらいました！



▲WEB

国際日本学部
国際文化交流学科
ヘルスン
オレクサンドラさん



今年の2月に自分で購入したウクライナの人形です。



村上春樹『海辺のカフカ』のドイツ語バージョンです！



工学研究科博士前期課程
建築学専攻
グエン キム ترامさん



台北で買いました！おばあちゃんも持っているような感じが可愛いです。



国際日本学部
国際文化交流学科
ワン ニーンメイさん



スペインの友達がプレゼントしてくれた手作りのアルバムです！



経営学部
国際経営学科
サイス ゴンザレス
ディアネさん



スペインの友達と撮った写真を入れたキーホルダーです！



経営学部
国際経営学科
ランダ イガルトウア
マイエルさん



ルーマニア語の源氏物語の本です！



国際日本学部
国際文化交流学科
ポップ サビナ
イオアナさん



ネックピローにもなるぬいぐるみです。韓国で人気の「BUTTER」という雑貨店で購入しました！



経営学部
国際経営学科
キム ヘリムさん



ポーランドの伝統的なお菓子「カタジンキ」とウォッカです。



経営学部
国際経営学科
ザセバ ヴィクトリア
アンナさん



ソウルの駅で買ったヘアピンです。



経営学部
国際経営学科
ソン ホソクさん



香港で人気のブランド「CASEIFY」のパソコンケースを愛用しています。



国際日本学部
国際文化交流学科
リー ボー サンさん



兄と弟が日本に旅立つ前にプレゼントしてくれました。



経営学部
国際経営学科
ベル ハジオウアシムさん

民俗学とは、公的な文字記録に残りにくい人々の生活文化を研究する学問だ。山本志乃ゼミナールでは、民俗学のなかでも「旅・移動・観光」に着目した研究を行っている。

「過去の卒論のテーマから例を挙げると、岩手県の三陸鉄道が地元の方々にとってどんな存在かを考察したり、信州の幕末期の豪農が秋葉街道をどう旅したかを分析したり、かつて品川にあった花街をめぐる地域の考え方の変遷を調査したりといったものがありました」

そんな山本ゼミで最も重要視しているのが、フィールドワークだ。

「自分の足で現地を歩き、人に会って情報を集めるフィールドワークは、民俗学の基本です。私自身も、これまでさまざまな地域でフィールドワークを行ってきました。大学時代には、研究テーマにしていた「市」について調査すべく、朝市に店を出していた農家の方の家に数週間単位で足かけ2年にわたって住まわせていただいたことも。農作業を手伝いながら、

フィールドワークでの出会いを通して人生をたくましく生きる力を身につけられる



REPORT

ゼミ名称	山本志乃ゼミナール
学部・学科	国際日本学部 歴史民俗学科
研究テーマ	民俗学(交通交易論)、旅行文化論

3年生は、決められたテーマに沿って研究し、フィールドワークのやり方など民俗学の基本を学ぶ。4年生になると、自分で決めたテーマに沿って卒業論文に取り組み、ゼミでの発表を重ねてブラッシュアップしていく。

一人ひとりが自分で考え、答えを出し、
気兼ねなく発信できる場所。

民俗学のおもしろみを体現した
「学生たちが自らつくるゼミ」です！

▲ 2022年度、2023年度に所属の
学生により制作されたゼミ誌



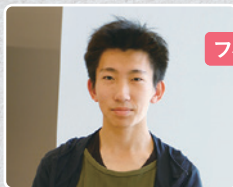
主体的に研究できる環境
だから、のびのびと学べる

▶ Voice_01

山本ゼミの魅力のひとつが、研究テーマや進め方を自分で考えられることです。山本先生は学生の意思を決して否定せず、受け入れたうえでアドバイスをくれるので、前向きな気持ちで研究に取り組んでいます。

学生の声

郷田 祥吾
国際日本学部
歴史民俗学科 4年



フィールドワークに
取り組むなかで
「社会で役立つ力」を習得

▶ Voice_02

私が山本ゼミを選んだのは、地域を訪れ、テーマについてよく知る方々に話を伺う「フィールドワーク」に興味があったからです。そこで培ったコミュニケーション能力は、社会に出てからもきっと役立つと感じています。

学生の声

後藤 和之
国際日本学部
歴史民俗学科 4年



お互いに意見を伝えやすい
穏やかな雰囲気ゼミ

▶ Voice_03

3年次は「市とマチ」の研究に取り組み、県外でのフィールドワークも経験。現在は卒業論文を書くために個人で研究を進めていますが、ゼミは意見交換しやすい雰囲気、仲間から学びを得られることも多いです！

学生の声

汀 真央
国際日本学部
歴史民俗学科 4年



▲ 2023年度に訪れた盛岡でのゼミ活動の様子
「民俗学のおもしろさのひとつに、調査地や方法を自分で発見して考えていくことがあります」と山本先生は話す。そのため、学生一人ひとりの興味や考えを尊重し、それに合わせた指導を心がけているという。

実は私、
カゴ収集 が
趣味なんです！

意外な一面を発見！



フィールドワークで各地をめぐるなかでいつの間にか集まったカゴ。30年ほど前に石垣島で手に入れて以来、土地ごとに違う素材や作り方に魅了され、家の中はカゴだらけです。



※2024年3月取材当時の情報です

センパイに 会いたい

SENPAI
file

・今のわたしが作られるまでの軌跡・



MY TURNING POINT

人との出会いに恵まれ、楽しく、そして学びの多い大学生活を過ごしたおふたり。



元さんは、所属していた法学部の教授の「法学部を出たからにはリーガルマインドをもって人生を送ってほしい」という言葉が今も胸に残っているという。

「自分なりの正義感をもって生きていくことの大切さは、神大法学部で学びました」(元さん)



直さんは、サークル仲間と大学生活の大部分を一緒に過ごしたそう。

「人生においてとても貴重な“学生ならではの時間”を過ごしました。学生のみなさんにも、どうか今を大切にしてください」(直さん)

味噌づくりの 伝統を受け継ぐ兄弟

左ノ井上 直さん (いのうえ ただし)
1994年3月 経済学部経済学科 卒業

右ノ井上 元さん (いのうえ はじめ)
1987年3月 法学部法律学科 卒業

長野県で100年以上続く味噌醸造所「井上醸造」を先代から引き継ぎ、元さんが4代目社長、直さんが専務として伝統的な信州味噌づくりを守り続けている。横浜キャンパスの学食(カルフル)で提供されている味噌汁は、「おいしい味噌を後輩に味わってほしい」という想いから、井上醸造の味噌を使ってつくられたものだ。

効率や便利さが重視される今の時代に「想い」を大切にしてお客様に応える
伝統的な味噌づくりを受け継ぐ兄弟の挑戦

長野県で一〇〇年以上にわたる老舗の井上醸造を営んでいる4代目社長の井上元さんと、専務の直さん。伝統的な手づくりの製法を代々受け継ぎ、原料はすべて生産者の顔が見える国産、特に長野県産のものを厳選している。

「私たちの味噌づくりは、とことん昔ながら。今の時代、味噌の仕込みは一年中できますが、うちでは、善光寺平に桃の花が咲く3月から10月までしか仕込みはやりません」(元さん)

「仕込みの肝」となる麹づくりには三日三晩かかり、その間に細かく温度を管理することが必要ですが、それも自分たちの手で行います。天候や原料のコンディションに合わせて調整することで、オートメーション化された味噌づくりにはできない味を実現しています」(直さん)

また、井上醸造のこだわりは、製造過程だけでなく販売方法にもある。「お客様から注文を受けてから、蔵に行つて桶から味噌を分ける量り売り販売をしています。お客様と話をしながら味噌を売ることも、お子さんがタッパを手におつかいに来られる姿を見られることは、やりがいにつながっています」(元さん)

そんな古き良き製造・販売スタイルは、これからも守り続けていくという。

「今は便利さや簡易性を追求する時代ですが、私たちはやはり、想いを大切にしていきたい。うちをひいきにしてくれているお客様も、きっとそこを評価してくれていると思うので」(元さん)

「うちの味噌づくりは、先代たちが紡いできたひとつの文化です。数十年前もその味噌づくりが続いているよう、地元の方々と協力しながら、伝統を残していきたいです」(直さん)

歴史ある家業を継いだふたりの大学生活は、まさに出会いの連続だった。

「神大でなければ出会えなかった友人がたくさんできた貴重な時間でした。毎日のように食堂に集まっては、勉強をしたり、他愛もない話で盛り上がりたり。ぐっと視野が広がりましたね。学生のみなさんにも、さまざまな人とコミュニケーションをとって、できれば本もたくさん読んで、自分をつくることに一生懸命になってほしいです」(元さん)

「私は境遇の異なる人々と知り合い、家業の希少性や歴史の重みを知りました。地元にとどまらず、醸造所は日常の風景でしたからね。そういう意味では、旅行に出かけるのもいいのではないのでしょうか。各地の文化に触れることによって得られる気づきは多いと思います」(直さん)

CLUB ROOMS

クラブ・サークル紹介

PICK UP CLUB

管弦楽団



introduced
by
Shinichi
MIYAWAKI



工学部 経営工学科 3年
宮脇 信一さん

4歳からバイオリンの演奏をしており、「チャイコフスキー交響曲第5番」が一番好きな曲です。管弦楽団では、活動を通して地域社会への貢献や交流を目標としています！



「楽器の演奏経験がない人や楽譜が読めない人でも、入団後に練習を重ねることで活躍できるようになります」と話すのは、団長の宮脇信一さん。バイオリンなどの管弦楽器は、幼少期より演奏をしていないとうまく音が出ないというイメージを抱くかもしれない。「確かにバイオリンをはじめ、難しい管弦楽器は多くあります。けれど団員同士で教え合うこともできますし、外部から講師を招いてレッスンをしてもらうこともあるので、未経験者でも4年間で確実に上達しています。楽器を持っていない場合でも、団が所有している楽器を借りることもできますよ」

合宿は年2回実施しており、2024年3月は4泊5日で山梨県で行われた。朝から晩まで演奏できる環境が整っているという。「練習だけでなく花火をしたりなど、合宿のあとにはより一層団員同士が仲良くなっていると感じています」また、タリーズコーヒーKU白楽駅店でのミニコンサートが一番印象に残っているという宮脇さん。「ほかの演奏会に比べると観客との距離が近いので、反応を直接感じること

ができるからです。物理的な距離が近いので、より緊張感がありますけどね」

学外での演奏会を通して、地域社会との交流や貢献といった活動に携われることも、管弦楽団の魅力だという。そして、年2回の定期公演は管弦楽団としての大きなイベントだ。定期公演の前には練習が週4回に増え、楽器の演奏とともに、より団員同士の団結力を高めている。演奏する曲によっては楽器の人数が足りないときもあるが、そんなときはOBやOGという心強い助っ人に入ってもらいこともあるという。「私もOBやOGの方にならって、卒業後も引き続き楽器の演奏は続けていきたいと思っています」と宮脇さんは話してくれた。

「どれだけ楽器の経験があるかということではなく、熱意をもって音楽に取り組める人であれば、未経験の方でも入団を歓迎しています！担当の楽器や学年問わず、みんな仲がいいので充実した学生生活が送れますよ」



旅館を貸し切りにして行われた合宿では、宴会場を全体練習の場とした。4泊5日を通して、より団員の団結力が高まっていた。

タリーズコーヒーKU白楽駅店でのミニコンサート。「昼の部」は木管楽器の演奏、「夜の部」は弦楽器の演奏が披露された。距離の近さから、他の会場にはない臨場感を味わえると話題だ。



楽器の演奏が未経験の方でも大歓迎。野球応援や駅伝応援など、さまざまな活動の機会がありますよ！

CLUB DATA

創設 | 1975年

部員 | 85名

月水金(17:10~20:30)の週3回、横浜キャンパスにて活動をしている。みなとみらいキャンパスから通う学生も多い。

音楽を通じて人とのつながりを築く。
未経験者でも上達できる環境が整っています！

01

網代地区のご当地
グルメ「イカメンチ」

地元で採れたイカと野菜を刻み、魚のすり身と合わせてつみれ状にしたあと、油で揚げたもの。漁師町である網代地区では、昔から食べられていた郷土料理のひとつです。いろいろなお店でイカメンチを食べ比べるのも楽しいですよ！

「仲見世商店街」と
「平和通り商店街」で
地元の名物を楽しむ！

熱海駅近くには2つの商店街があり、地元の名物グルメやお土産店、レストランなどさまざまなお店が並んでいます。干物や練り物などの昔ながらの名物もありますが、最近ではスイーツをはじめとする新しいお店も増えているんですよ。

熱海市内には3つも
海水浴場があります！

熱海サンビーチ、長浜海水浴場、網代温泉海水浴場の3つの海水浴場があります。高校時代に遠泳大会で、初島から熱海サンビーチまで12kmの距離を泳いだことがあるんですよ！また、3つの海水浴場のなかでも網代温泉海水浴場は、観光客も少なく地元の人がよく行く穴場のポイントです。

02

TRIVIA
ご自慢トリビア

一年中花火大会が開催されています！

春夏秋冬、季節を問わず花火大会が催されます。ビーチからはもちろん、場所によっては宿泊施設や自宅から見ることできます。

豊富な天然温泉と
新鮮な魚介類。
美しい海に心癒される街

静岡県熱海市は相模湾に面した伊豆半島にあり、天然温泉が豊富で昔からリゾート地として親しまれています。地元で水揚げされた海鮮などのグルメを求めてやって来る人や釣りをしに来る人、温泉施設でゆっくりと過ごす人など、観光客がとて盛んです。とくに暑い季節になると海水浴客が増えるので、街全体がより盛り上がります。また、フェリーで30分の初島まで渡ると、美しい海が待っているんですよ。一年中楽しめる熱海に、ぜひ一度遊びに来てくださいね！

経済学部経済学科 3年

清水 堅介さん

KENSUKE SHIMIZU

高校時代は水泳部に所属し、競技に打ち込んでいました。高3で選手を引退しましたが、水泳部のマネージャーにならないかと声をかけてもらったことがきっかけで神大への入学を決めました。部活と勉強の毎日ですが、とても充実した学生生活を送っています！

方言でひとこと

“ 熱海って
いい街だら？ ”

熱海っていい街でしょ？

静岡県
熱海市

出身地は
ココ！

from JAPAN

from WORLD

スリランカ
民主社会主義共和国
西部州 ケラニヤ

出身地は
ココ！

工学研究科 博士後期課程
工学専攻経営工学領域 3年

リヤナラッチ
ニルマラ ネミットさん

LIYANAARACHCHI NIRMALA NEMITH

テレビやラジオ、時計などの日本製品を昔から自宅に使っており、技術や耐久性が優れているということから日本に憧れをもっていました。2019年4月に来日してからずっと横浜に住んでいるので、私にとっての日本の故郷は横浜だと思っています。カメラと車が趣味で、好きな漫画は『頭文字D』。

母国語でひとこと

“ ආලුබේවත්
(アユボワン) ”

こんにちは・さようならなどの挨拶として、日常よりも少しこままった場面で行われているシンハラ語です。胸の前で手のひらを合わせた「合掌」をして使ってくださいね。

フレンドリーで
親しみやすい国民性。
セイロンティーが自慢です！

西部州は島国スリランカの南西に位置し、首都のスリジャヤワルダナプラコッテと経済の中心地コロンボが存在しています。国内全人口の約7割がシンハラ語を話すシンハラ人でそのほとんどが仏教徒、約2〜3割はタミル語を話すタミル人でヒन्दゥー教徒がほとんどです。フレンドリーで話し好きな人がたくさん。また、日本でもよく飲まれているセイロンティーの原産国で、国内には観光地もたくさんあるのでぜひ一度遊びに来てくださいね。

TRIVIA
ご自慢トリビア

スリランカの新年は
占星術によって決まります！

毎年日時が異なり、2024年は4月13日21時5分でした。新年の特別な料理やお菓子を作り、家族でお祝いをする大切な日になります。



仏教徒なら一度は訪れて
みたい「ケラニヤ寺院」

ブッダが3度訪れたといわれているスリランカを代表する仏教聖地のひとつです。満月の日「ポーヤデー」は毎月祝日となり、多くの仏教徒がお参りのために訪問するのでとてもにぎわいます。本堂の内部や外壁には、仏像や壁画が施されているので見てあげてください。



大都市コロンボから
近く、とても
住みやすい街です！

国内最大の都市コロンボからバスで約20分のため、買い物や遊びにはまったく困りません。バスの本数も多く、移動にも大変便利です！ベッドタウンとして人気の街で、ファミリー層もとても多く住んでいるんですよ。



スリランカ料理は
どれも美味しく自慢！

ココナツをベースとしたマイルドな味わいのスリランカカレーや米粉の生地を小さなお椀のような形に焼いたホットケーキなど、たくさんのスパイスが使われた料理が豊富です！日本料理に比べると辛いかもしれませんが、ぜひ食べてみてほしいです。

02

2023年度 学生生活実態調査について

本学学生の生活実態の全体的な傾向を把握し、学生生活や修学支援などの今後の施策を立てることを目的として調査を実施しました。(回答者数4370名)以下のとおり、調査結果の抜粋を報告します。



学生生活支援委員会より

2023年度の「学生生活実態調査」の報告書をまとめました。新型コロナウイルス収束後初めての調査となりましたが、前回(1792名)を大幅に上回る4370名より回答が得られ、コロナ禍を経て社会環境が刻々と変化しているなかで、大学への思いや期待の込められたメッセージが寄せられたと考えています。まずは、本調査への回答にご協力いただいた学部生及び大学院生の皆さんに心より感謝申し上げます。以下に調査結果の概況を述べさせていただきます。

1. 学費について

多くの学生が親の収入で学費を納付している傾向に大きな変化はありませんが、3割程度の学生が奨学金を利用して納付していることが分かります。国による高等教育の修学支援新制度も導入され、経済的に修学が困難な学生に対する支援が大幅に拡張されていますが、真に必要とされる学生に支援が行き渡るよう、学内奨学金制度についても更なる整備が求められます。

2. 学生の一週間あたりの学習時間について

一週間あたりの予習、復習に費やす学習時間については、コロナ禍にあった前回調査では「ほとんどない」と回答した学生の割合が23.8%でしたが今回は32.4%と増加しています。本調査における自由記述欄にも、学習意欲が不十分な学生を問題視している回答が寄せられており、学生には学問に向き合う姿勢を再考していただくとともに、学問への興味関心を喚起させる指導の工夫など全学的に取り組むべき喫緊の課題であると捉えています。

3. 学生の皆さんが現在抱えている問題について

進路や就職の悩みが66.8%と最も多く、大学生に共通の悩みだと考えられます。一方、人権問題における回答では、セクシャル・ハラスメントが大幅に減少しましたが、自由記述欄にも記述されているパワー・ハラスメントは前回調査と同様の27.8%であることを踏まえて、教職員におけるハラスメントの更なる理解と啓発が必要と思われます。

4. 喫煙率について

本学では、2022年にスモークフリー(無煙化)推進宣言を掲げて卒煙支援を推進してきましたが、残念ながら、今回の調査では7.3%と増加に転じています。敷地内禁煙については「現状のままで良い」「分煙をさらに徹底」が微増となる一方、「全面禁煙」は微減となっていますが、自由記述欄には非喫煙者から喫煙を問題視する回答が散見されており、学外での喫煙問題をも含めたバランスの取れた施策の実施が望まれます。

5. 自由記述欄の記載内容について

自由記述欄に寄せられた回答について、以下に代表的な内容を集約いたします。

●「本学の魅力や特徴」として挙げられていたのは、総合大学として幅広い学びができる、国内外の多様な学生と触れ合うことができる、学生サポート体制が充実している、清潔感あるキャンパスに様々な施設が整っている、質の高い魅力的な教員が揃っている、横浜の立地に根差した環境やアクセスが良い、安価でおいしい学食などがありました。

●「本学の問題点や改善点」としては、履修制限科目等の履修登録の抽選制度の改善、卒業要件単位の確認に関するサポート、学生が多いことによるキャンパス各所の混雑、WiFi回線の環境改善、施設や設備の老朽化、喫煙環境の改善、教職員の対応や態度等の様々なコメントや要望が寄せられるなか、エレベーター・エスカレーターの混雑といったキャンパス特有の問題も散見されています。本学の教職員は、これら学生の生の声として伝えられた貴重な意見に耳を傾け、真摯に受け止めて、対応が必要があると考えています。学生にとって更に魅力的な大学となるよう、引き続き、学内関係者にご協力をお願いする次第です。

※調査結果の一部抜粋をグラフ化しています

※調査結果の詳細は本学ホームページにて公開中です



アンケート主要調査項目

1 生活全般について

生活費収入・支出／大学納付金／定職・アルバイト／キャッシュレス・電子決済／住居形態／通学手段・時間／学習時間／大学生活で重点を置いていること

2 心と身体の健康について

悩みの内容／相談相手／相談施設について／学生のピアサポート／喫煙について／日常生活のトラブル

3 課外活動について

部活動やサークルへの参加・活動内容／1週間の活動日数

4 図書館の利用について

利用頻度／利用目的／読書時間

5 学生支援体制について

学生生活に関する満足度／身に付けたいこと／実現度予測

6 情報機器・情報発信について

所持している情報機器／メディア、SNSの利用状況／個人情報の開示状況

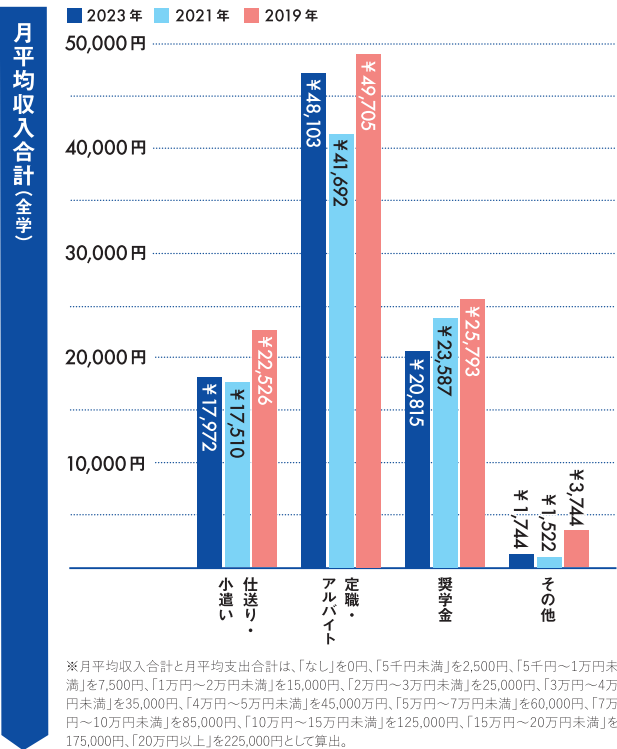
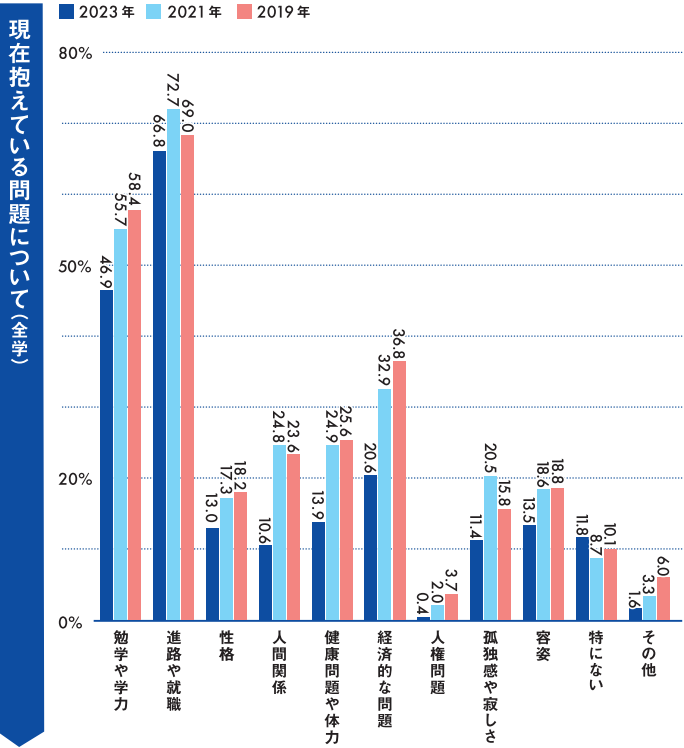
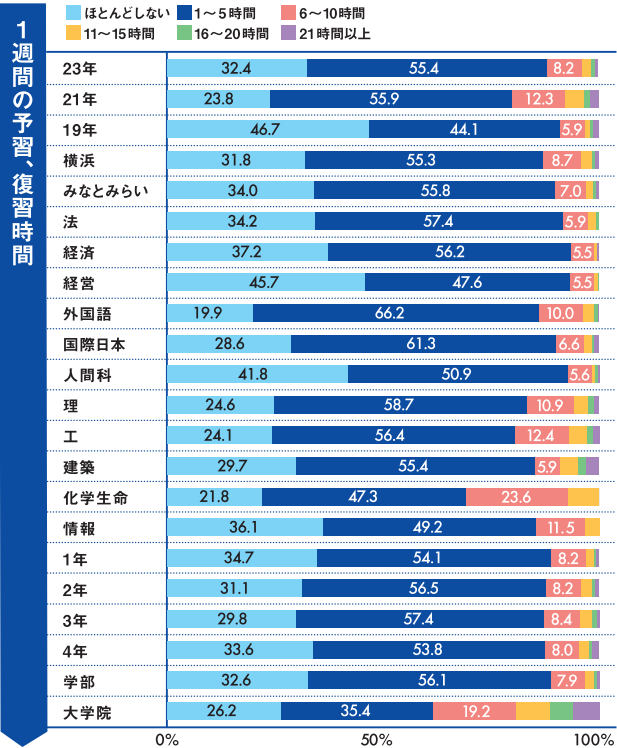
7 神奈川大学についての満足度

【調査実施期間】

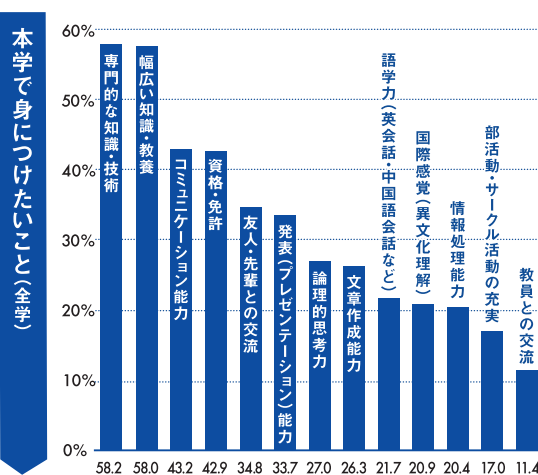
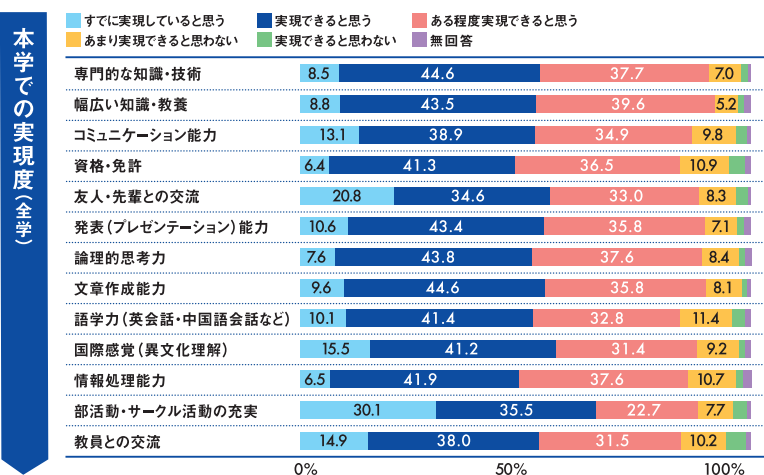
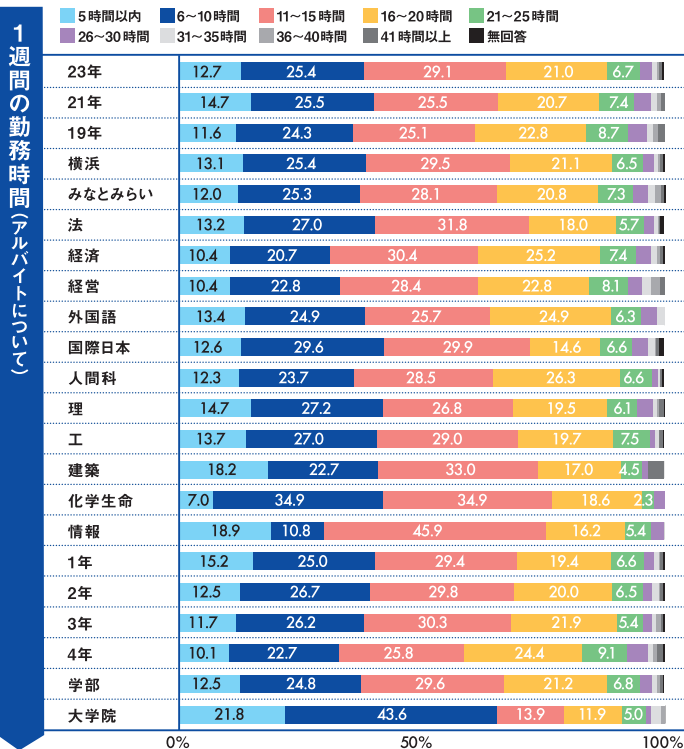
2023年10月16日～2023年11月17日

【回答者数】

学部生:4240名／大学院生:130名



※月平均収入合計と月平均支出合計は、「なし」を0円、「5千円未満」を2,500円、「5千円～1万円未満」を7,500円、「1万円～2万円未満」を15,000円、「2万円～3万円未満」を25,000円、「3万円～4万円未満」を35,000円、「4万円～5万円未満」を45,000円、「5万円～7万円未満」を60,000円、「7万円～10万円未満」を85,000円、「10万円～15万円未満」を125,000円、「15万円～20万円未満」を175,000円、「20万円以上」を225,000円として算出。



学生生活満足度平均点	校舎などの施設について	図書館について	情報処理の設備について	実験・実習・演習等の設備について	学食について	健康管理について	海外留学制度について	大学からの広報・掲示について
23年	2.99	3.41	3.03	3.07	2.85	3.04	3.06	2.87
横浜	2.94	3.44	2.97	3.03	2.84	3.01	3.01	2.84
みなとみらい	3.10	3.33	3.17	3.18	2.88	3.12	3.14	2.95
法	2.97	3.44	3.00	3.08	2.88	3.02	3.01	2.83
経済	2.93	3.46	3.01	3.08	2.83	3.03	3.05	2.84
経営	3.18	3.37	3.15	3.17	2.87	3.14	3.20	2.93
外国語	3.13	3.36	3.21	3.24	2.93	3.12	3.09	3.00
国際日本	2.96	3.26	3.17	3.16	2.87	3.09	3.09	2.94
人間科	2.98	3.52	3.14	3.09	2.89	3.11	2.98	2.87
理	2.86	3.31	2.84	2.98	2.77	2.95	2.90	2.82
工	2.91	3.47	2.94	3.00	2.79	2.97	3.05	2.85
建築	2.96	3.53	2.97	2.98	2.96	2.98	3.00	2.80
化学生命	2.96	3.35	2.93	3.10	3.11	3.00	2.78	2.73
情報	2.98	3.44	2.71	2.83	2.68	2.87	2.71	2.79
1年	3.09	3.47	3.09	3.12	2.96	3.10	3.10	2.93
2年	2.95	3.40	3.04	3.07	2.81	3.01	3.07	2.85
3年	2.86	3.37	2.91	3.00	2.70	2.98	3.00	2.82
4年	3.00	3.37	3.03	3.09	2.88	3.04	3.01	2.87
学部	2.98	3.41	3.03	3.08	2.85	3.04	3.06	2.87
大学院	3.05	3.42	2.96	2.98	2.80	3.01	3.17	2.88

※平均点は、「とても満足している」を4点、「ある程度満足している」を3点、「あまり満足していない」を2点、「まったく満足していない」を1点として算出。「経験していない」に関しては、平均点を算出する母集団から除いた。

創立100周年へ向けた
神奈川大学の取り組みを
読んでみよう!

中期計画 (2024-2028)

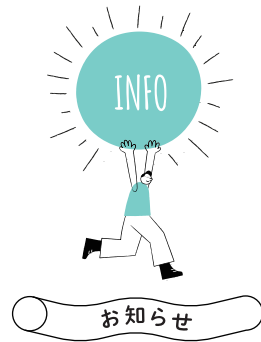


詳しくは
こちらから▶



神大スタイルWEB
style.kanagawa-u.ac.jp

神大スタイル公式Instagram
@jindaistyle_magazine_official



『神大スタイルWEB』では
定期的に
コンテンツを更新中!

神大スタイルのInstagramなら、ほかでは見られない写真も公開中! フォロワー限定のプレゼント企画も不定期開催予定。



作: 作画研究会 (まちみ)

とにかく夏を楽しんでいるふたりを描きたいと思って制作しました。私も今年の夏をとて楽しみにしています。



作画研究会の
X (旧Twitter) は
こちら!



神奈川大学通信 JINDAI Style
編集専門委員会

委員長

関 ふ、佐子 (法学部教授)

委員

角田 光隆 (法学部教授)
権 純範 (経済学部助教)
津村 将章 (経営学部准教授)
チックソニア (外国語学部准教授)
山根 麻紀 (国際日本学部准教授)
渡部 かなえ (人間科学部教授)
白井 直樹 (理学部准教授)
翁 嘉華 (工学部教授)
白井 佑樹 (建築学部特別助教)
野嶽 勇一 (化学生命学部教授)
森田 光 (情報学部教授)
田島 睦浩 (企画政策部 経営政策・広報担当部長)
飯塚 渉 (企画政策部 経営政策・広報担当次長)
中嶋 健一 (広報課長)
椎野 和也 (広報課長補佐)
越後屋 あゆみ (広報課)
胡麻 裕宣 (学生課)
市川 大介 (学生課)

学生編集長

山崎 夏美 (日本文化3)

学生広報担当

石川 悠 (日本文化3)

施 宝明 (法律2)

森 紫織 (法律2)

吉原 大翔 (自治3)

刈谷 和美 (経済3)

阿部 怜奈 (経済2)

星野 美鈴 (経済2)

河野 健吾 (経済1)

三浦 知樹 (経営3)

三好 奏音 (国際文化4)

大崎 隼輔 (日本文化3)

桑島 暖 (日本文化3)

徳永 広華 (日本文化3)

藤原 陽菜 (日本文化3)

小河原 莉子 (日本文化1)

松本 えいら (日本文化1)

白井 俊寛 (経営工学1)

佐藤 友梨 (先端情報2)

遠藤 みづほ (理学部前1)

cover story
表紙の人



表紙・COVER STORY撮影: 吉原大翔 (自治3)

経営学部
国際経営学科
SONG HOSEOK さん(左)
国際日本学部
日本文化学科
チェン ウィン イェン
CHANG WING YAN さん(右)

交換留学生として神大で学び、国際寮栗田谷アカデミアに2024年4月から入居しているおふたり。国際寮での生活のことについて、聞いてみました。

母国の料理を作ってパーティをするなど、国際寮での生活を楽しんでいます。私はみんなに韓国のキムチ鍋を作りました。日本に来てから、牛かつをわさびで食べることにハマっています。(ソンさん)

もともと母国台湾の大学で日本語を専攻していました。国際寮にはいろいろな国の人が集まりコミュニケーションがとれるので、毎日楽しく過ごしています。(チェンさん)

編集後記



表紙の撮影のため、初めて栗田谷アカデミアにお邪魔しました。寮内は非常に清潔で開放感があり、留学生の方々も楽しそうに生活をしているので、私もここで生活してみたいと思いました。撮影は国際寮の開放感を活かすため、余計なものは入れずに適度なズームをすることなどで、スッキリとした印象になるよう心がけています。今号では裏表紙の撮影も担当したので、そちらにも注目していただけたらうれしいです。

学生編集スタッフ/吉原大翔 (自治3)

リアルな神大生の声を聞きたい!

KU GRAFFITI VOL.83

ケーユーグラフィティ
VOL.83



Question

あなたの“住んでみたい国”は?



撮影・学生編集スタッフ 施 宝明/吉原 大翔/三浦 知樹/石川 悠/山崎 夏美/佐藤 友梨

JINDAI SPOT LIGHT

keywords



ロサンゼルスオリンピック出場に向け

海外遠征もしながら成長を目指す日々。

「その先の夢」を叶える学業にも励んでいます！

PHOTO:
吉原 大翔(自治3)

人間科学部 人間科学科 3年

みうら ほのか

三浦 帆香さん

選手として、ひとりの人として神大での4年間で夢に近づきたい

海上で風や波を読んでヨットを操り、いち早くフィニッシュラインを通過することを目指す競技、セーリング。三浦帆香さんは、小学校3年生から本格的に競技セーリングの世界に飛び込んだ。そして中学で世界選手権の代表になり、高校では国体で優勝。現在も、日本セーリング界のトップクラスの選手として活躍している。そんな三浦さんが目標に見据えるのが、オリンピックへの出場だ。2028年のロサンゼルス大会、2032年のブリスベン大会での代表入りに向けて練習に励んでいるという。

「セーリングで勝つには、体力や技術だけでなく、メンタルも必要です。レース中は、ライバルたちと互いのルール違反の有無をめぐる主張し合うことが日常茶飯事。とくに海外の選手は迫力があるため、気圧されずに意見するのは難しいんです。でも、昨年はひとりで海外の大会に参加する機会が多々あり、メンタルを強化でき

たと感じています。試合だけでなく、言葉が通じない環境で数週間生活したことで鍛えられました」

目標に向け、着実に前進する三浦さん。神大に入学してからは、選手引退後のキャリアについても具体的に考えるようになったと話す。

「中学や高校の思い出を振り返ると、本当にセーリング一色でした。でも、神大で勉強するなかで視野が広がり、引退後のキャリアも描けるようになったんです。具体的には、プロアスリートのサポートやチームの運営に携わりたいと考えています。興味をもったきっかけは趣味のプロ野球観戦ですが、スポーツ産業論の授業で知識を深められたことで、夢の輪郭が明確になりました。

これからもセーリングの一選手としてしっかりと練習に励みつつ、その先につながる学業にも一生懸命に取り組んで、神大で“未来のための準備”をしていきます！」

